

平成 29 年 6 月 19 日

租税訴訟学会会員各位

租税訴訟学会総務企画部

租税訴訟学会 平成 29 年度研修・研究大会「消費税と税務調査」

過去資料無料配布のご案内

平成 29 年度研修・研究大会において、下記の資料を無料配布いたします。当日、ご自由にお持ちください。無くなり次第終了となりますのでご了承ください。

持込部数参考のため、研究会申込用紙に記載しております、配布希望資料アンケートにご協力ください。※アンケートは配布を確約するものではありません。

■研究会

日付	テーマ		頁数
平成 15 年 6 月 12 日	第 1 回 研究発表会	嘆願書と税理士損害賠償責任 講師：税理士 藤曲武美 氏	63 頁
平成 16 年 4 月 15 日	第 4 回 研究発表会	ストックオプション判決を検証する 発表者：弁護士 服部弘 氏、弁護士 菅原万里子 氏	180 頁
平成 16 年 6 月 23 日	第 5 回 研究発表会	相続税の課税財産を検証する -借入金の保証料は課税財産か- 発表者：税理士 岩下忠吾 氏、税理士 守田啓一 氏	67 頁
平成 16 年 9 月 22 日	第 6 回 研究発表会	夫婦と所得税 -妻税理士事件判決を手掛かりとして 講師：弁護士 今村隆 氏	32 頁
平成 16 年 12 月 3 日	第 7 回 研究発表会	情報公開請求でみる国税不服審査所のあり方 発表者：税理士 朝倉洋子 氏 コメンテーター：大淵博義 氏	48 頁
平成 17 年 4 月 28 日	第 8 回 研究発表会	質問検査権の法的限界 講師：弁護士 鶴見祐策 氏	51 頁
平成 17 年 6 月 10 日	第 9 回 研究発表会	条件付債権放棄と貸倒損益の計上時期 -旧興銀事件が実務に与える影響- 発表者：税理士 鈴木雅博 氏 コメンテーター：弁護士 品川芳宣 氏	87 頁

平成 17 年 9 月 20 日	第 10 回 研究発表会	新行政事件訴訟法の活用－義務付け訴訟を中心として－ パネラー：山田二郎 氏、水野武夫 氏、山下清兵衛 氏、山本守之 氏（司会）	95 頁
平成 18 年 4 月 13 日	第 12 回 研究発表会	士業に対する損害賠償請求事件の検討－租税に関わる処理をめぐって 講師：弁護士・税理士 牛嶋勉 氏	52 頁
平成 18 年 6 月 15 日	第 13 回 研究発表会	任意組合を用いた租税回避行為の否認とその問題点－平成 18 年 1 月 24 日最高裁判決を中心にして－ 講師：税理士 細川健 氏	90 頁
平成 18 年 9 月 22 日	第 14 回 研究発表会	租税訴訟に役立つ行政法理論 講師：教授 阿部泰隆 氏	338 頁
平成 18 年 12 月 18 日	第 15 回 研究発表会	減価償却制度の問題点を探る－経済産業省の中間報告及び NTT ドコモ訴訟を素材として－ 発表者：税理士 横山和夫 氏 コメンテーター：税理士 山本守之 氏	274 頁
平成 19 年 4 月 3 日	第 16 回 研究発表会	弁護士報酬の収入計上時期をめぐる租税法律主義・課税要件明確主義の問題 講師：弁護士・税理士 松本素彦 氏	103 頁
平成 19 年 6 月 28 日	第 17 回 研究発表会	課税要件を検証する 講師：税理士 青木丈 氏 コメンテーター：税理士 山本守之 氏	217 頁
平成 19 年 10 月 30 日	第 18 回 研究発表会	個別税法間に介在する二重課税問題 講師：教授 酒井克彦 氏	148 頁

■夏期研修

日付	テーマ	頁数
平成 16 年 7 月 3 日, 10 日, 17 日	平成 16 年度 夏期連続研修 (第 2 回) 「租税訴訟の理論と実際」 第 1 回 (平成 16 年 7 月 3 日) 『租税訴訟の検討の視点』講師：弁護士 井上康一 氏 第 2 回 (平成 16 年 7 月 10 日) 『国税犯則事件』 講師：税理士 荒木慶幸 氏・弁護士 山下清兵衛 氏 第 3 回 (平成 16 年 7 月 17 日) 『元訟務検事からみた租税訴訟』講師：弁護士 今村隆 氏	284 頁

平成 17 年 7 月 16 日, 7 月 17 日	平成 17 年度 夏期連続研修 (第 3 回)	「質問検査権の法的課題—税務調査の理論と 実際—」 第 1 回 (平成 17 年 7 月 16 日) 『質問検査権の法的限界』講師：弁護士 鶴見 祐策 氏 『弁護士からみた税務調査』講師：弁護士 山 本洋一郎 氏 『税理士から見た税務調査』講師：税理士 菅 納敏恭 氏 第 2 回 (平成 17 年 7 月 17 日) 『税務調査に耐えうる税務処理』講師：弁護士 青木康國 氏	208 頁
平成 18 年 7 月 22 日, 7 月 23 日	平成 18 年度 夏期連続研修 (第 4 回)	「税務争訟における立証活動の実務とその戦 略」 第 1 回 (平成 18 年 7 月 22 日) 『税務訴訟における証拠調手続』講師：弁護士 井上康一 氏 『税理士からみた税務争訟における立証活動』 講師：税理士 山田俊一 氏 第 2 回 (平成 18 年 7 月 23 日) 『弁護士からみた税務争訟における立証活動』 講師：弁護士 山本洋一郎 氏 『元訟務検事からみた税務争訟における立証 活動』講師：弁護士 塚原聡 氏 『元裁判官からみた税務争訟における立証活 動』講師：教授 小川英明 氏	380 頁

■ 争訟技術検討会等

日付		テーマ	頁数
平成 16 年 10 月 1 日	争訟技術検討 会	「相続財産の範囲を巡って相続人間に争いの ある事例を通して申告から訴訟までの方策を 具体的に検討する」 講師：弁護士・税理士 青木康國 氏、弁護士 長屋慶一氏、弁護士 塚原聡 氏、税理士 岩 下忠吾 氏、税理士 小池正明 氏、税理士 小林登 氏	219 頁

<p>平成 17 年 7 月 2 日</p>	<p>争訟技術検討 会</p>	<p>「重加算税不可決定処分を取り消した原審の判断を是認し、さらに、更正処分の一部取消を認めた東京高裁平成 16 年 9 月 29 日判決を題材として、本件の原告訴訟代理人をされた小田修司弁護士をお招きし、様々な角度から検討する」 発表者：弁護士・税理士 小田修司 氏、税理士 長谷川博 氏、税理士 正木洋子 氏、弁護士 塚原聡 氏</p>	<p>524 頁 +66 頁 (分冊)</p>
<p>平成 19 年 1 月 27 日</p>	<p>租税争訟検討 会</p>	<p>「租税争訟をめぐる検討会—国税不服審判所の現状をふまえた手続きを検証する—」 パネリスト：青木康國 氏、都築巖 氏、長谷川博 氏、細川和憲 氏、山下清兵衛 氏 コーディネーター：菅原万里子 氏</p>	<p>122 頁</p>